

ほほ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあどつした事でしょう」)

発行 有限会社ナツプ
編集責任 池田誠
発行日 平成二八年八月
問合せ先 〇九八五五二七四〇九

初挑戦！ 丸いDispo

弊社が提供する「立体ポップシリーズ」のラインナップの中で、ビッグサイズで目立つと好評を頂いているものに、立体ポップDispoがあります。

今回は、おなじみの楕円型のDispoではなく、真円のDispoに挑戦しました。きっかけは、お客様から真円のポップはできますか？と依頼があったのが始まりです。基本の作り方は、従来のDispoと、そんなに変わるところはありませんが、中に入るパーツや、自立方法を少しだけ変えてみました。

お客様から依頼のあったポップは、モックアップと言って、実際にある商品を拡大したように作るというお仕事でした。

高さは1200ミリほどで、上から見ると高さでなっており、これまでのDispoにはなかった頭部分を付け



ることにしました。Dispoは厚紙で製作していますが、蓋となる部分は厚紙で作ることが難しかったため、別の素材を使うことになりました。印刷して見た時の材質が違いすぎないものを選びましたが、次は分かりやすい組み立て方法となった時に少し作業が止まってしまうところもありました。

今回は全くの新商品！というわけではなかったのですが、これまでであった物を少しづつ形を変えて作っていくことは、これまでの作り方にとらわれすぎてしまっていた私の頭では、苦戦してしまった部分も……。次の新商品に向けて、頭を柔く柔くしていきたいと思います。(由)

ラージボール卓球を始めませんか？

卓球競技には、硬式卓球とラージボール卓球の2種類がある事をご存じでしょうか？ オリンピック競技でもある硬式卓球のピンポン玉の大きさは40mmなのですが、ラージボール卓球のピンポン玉は44mmと少し大きく、ラバーもツブツブの表ソフトラバーしか使用できないとの制限があります。1988年に、初心者も高齢者もすぐ楽しめるという発想から始まりました。玉が大きいので、ラリーがたたくさん続きます。私達夫婦もラージボール卓球を始めて5年目になります。私は中学、



ランチ野郎 見参！ 「日南市既肥なの」がえラーメンの巻

むかし、宮崎市の赤江で営業していた時によく食べに行っていたラーメン屋さんがこの「あかえラーメン」です。今でも時々食べたくなって既肥まで車を走らせます。あかえラーメンはこんなところにラーメン屋さんがある



高校と硬式卓球を部活でやっていたので、ラージボールにもすぐ対応できませんが、家内は卓球に関しては全くの初心者。けれど練習を始めてから半年で、県の大会に参加できるまでになり、昨年は九州大会にも参加したりして、ラージを楽しんでいます。これから何かスポーツをしようと考えている方、健康作りにも最適なラージボール卓球を私達と一緒にやってみませんか？

どなたでも練習参加OKです。のでナツプ池田まで！ (池)

です。そして、忘れてはいけないのが、このギョーザです。分厚くて、もっちりしていて、具材もたっぷり詰まっています。

実は、今から30年以上前の話ですが以前の宮崎市赤江で営業していた時に、ラーメンのモヤシの量にもビックリしましたが、それよりも、このギョーザを食べて感動した事を覚えています。

ラーメンとギョーザを完食して、帰宅途中に戸村のタレで有名なスーパー戸村に寄って買い物をしました。余談になりますが、スーパー戸村は魚と肉も新鮮ですが、美味しいお惣菜が多いのでお勧めですよ！ (大)



消防局出前防災講座

身近に起きた最近の、様々な地震や水害等、私たちは防災という事について、改めて認識を新しくする必要があるので感じています。

去る、七月二日(土)に、宮崎市消防局様へ、消防局出前防災講座を依頼して実施していただきました。

昨年は、AEDの操作と救急救命についてレクチャーをしていただきましたが、今回の内容は、火災、地震、救急講座をお願いいたしました。

火災が起こった想定下での、火災の避難訓練。訓練として、119へ直接電話を入れて、その対応や会話のやり方を学習しました。

次に地震時のDVDの鑑賞。意外だったのが、火元を消すという行為や、避難口を開けるという行為は、後回しで良いとの事。火元は最近では、自動で消える物が増えて

いるとのこと、無理に台所等の火を使用する機器の操作を行おうとして、鍋やお湯で火傷をしてしまう人が多いらしいとの事。

救急講座では止血の重要性

をレクチャーいただきました。

体重の約1/13が血液で、1/3を出血で失うと、生命の危険に陥るとの事。つまりは、体重60キロなら1.5ℓの出血で……。

そこで止血方法としてお勧めされたのが直接圧迫。出血している所を清潔な布を使って片手、両手で押さえるという簡単な方法。これなら慌てずに出来るぞう。

後、三角巾を使つての、骨折した時の対応法など。三角巾を使った止血法などが書かれたコピーを貰ってやりましたが、理解できれば、包帯より三角巾の方が便利かも？

消防の方は、結局「自分の身は自分で守る」ということが大事だと言っていました。(真)



いんちきクワイマーが行く！ 「九州最後の秘境？ 大崩山」編 最終回

下りに入ったとはいえ、登り以上にデンジャーな箇所が待ち受けています。坊主岩に着くまでの間、崩落箇所やトラバース箇所があり、時にはロープやハシゴが欲しい箇所も。なかでもビビるのが、かの有名な象岩トラバース。象岩という崖のへりに渡したワイヤーを掴んで20mほど力ニ歩きで横切るので。足元は奈落の底、落ちたらたぶん死んじゃうレベル。くわばら。

無事にクリアしましたが、果てなく続くアップダウンに疲労は頂点に。頭がポロっとしていたのだろう、巨大な岩にかかるハシゴとロープのコラボレーション地点で、ハシゴから滑り、両手だけでぶら下がりに状態に。一瞬にして頭の中がクリアになり、肝が縮



たよりも広い河原を渡ったが、水量も少なかったのでラクと渡渉ができた。そして、やっと大崩山荘へ帰ってきました。朝は、暗い中を歩いた道だが、帰りはしっかりとその様子がわかる。意外と危険な箇所も多く、気を緩め

てはいけない道だ。

そして下山。登山口へ。はい、無事に下りる事ができました。ありがとうございました。大崩山を堪能する事ができ、またひとつ山歩きの楽しさが広がりました。車に荷物を積んでいると、横を通り抜ける車が停車。窓から顔を出したのは、途中までご一緒した先輩でした。互いに無事に下りれた事を感謝。お互いどこかで心配していたので



今月号は、ナップの商品紹介の記事を載せました。立体ポップDispoの真円型ですが、従来の楕円形より強度がアップした事が一番の改良点です。それから今年も七月二日に宮崎消防局の方に会社に来ていただき、防災講座を実施してもらいました。三年前から年一回、出前防災講座をお願いしていますが、いつも分かり易く、人命救助法など色々な事を実技指導していただいております。講座には毎年、ナップ社員以外の方も参加していますので、防災講座を受けてみたい方は、んだもしたんで呼びかけますので、ぜひ参加してみてくださいね。(誠)

編集後記